

## 認定看護師の活動

### 認知症看護 認定看護師

江口 啓子・大本 真紀子・藤井 政則

認知症をお持ちの患者様が安心して入院生活を送ることができるように医師、看護師だけでなく、患者様に関わる多職種スタッフとともに取り組んでいます。当院は認知症の方をサポートする、多職種チーム十三オレンジチームが設置されています。カンファレンスにて患者様の入院から退院まで円滑に治療が行うことができ、元の暮らしができるように話し合い、病棟と協働しています。また、病院でのイベント時には、認知症に関する何でも看護相談を行っています。

### 糖尿病看護 認定看護師

森脇 恵美子

糖尿病は血糖値が慢性的に高くなり様々な合併症を引き起こす疾患です。合併症の発症や進展を防ぐため生涯にわたり治療を行います。そのため、患者様は食事・運動・薬物療法などの自己管理が必要となります。糖尿病をお持ちの患者様やご家族が生活の中で生じる心理的・身体的・社会的な問題や疑問に対して「糖尿病療養指導」「糖尿病透析予防指導」「フットケア」などを通じて、患者様の状況に応じた支援を心がけています。また、患者様の望む生活を支援するため、地域医療機関や介護施設の方々と連携しています。

### がん化学療法看護 認定看護師

坂本 陽子

がん化学療法看護認定看護師の役割は、患者さんが、安心して治療を受けていただけるように、抗がん剤を安全・適切に投与すること、副作用症状のマネジメントを行い、セルフケアが実践できるように支援することです。抗がん剤治療を受ける患者さんは、**がんと診断されたときから**様々な思いを抱えて治療に臨んでいます。そのような患者さんやご家族さんを含めた療養上の悩みや生活状況、症状やケアの状況について伺い、一緒に考えることで、その人らしい生活を送れるようなサポートを目指し活動しています

### 摂食・嚥下障害看護 認定看護師

伊吹 由香

現在私はスタッフの一員として勤務する中、認定看護師として嚥下スクリーニングや口腔ケアの相談、食事形態の検討などに取り組んでいます。

食事は患者さんにとって楽しみやコミュニケーションの場であり、食べることは生きる気力につながると考えています。そのためアセスメントに基づいて嚥下機能を評価し、適切な食事形態を選択することで安全に食事摂取ができるようにすることが私の役目です。

自宅療養においても継続できるような支援や患者さんの意向を取り入れた食事形態の選択など、難しく感じることもありますが、患者さんが「おいしい」と満足を得られた際にはとてもやりがいを感じています。

飲み込みが困難やむせがあるなどお困りの際には、是非ご連絡ください。

### 感染管理 認定看護師

山本 紀子

「感染管理」とは医療を提供するあらゆる場にいる患者とその家族、訪問者や医療従事者など、全ての人を医療関連感染から守るための組織活動です。私の役割は、多職種と協働しながら医療関連感染の予防と管理を推進することです。ICT（感染対策チーム）メンバーとともにサーベイランスを実践し、当院の医療関連感染の発生状況を把握、その評価を感染防止対策に活用しています。感染対策で大切なことは、職員一人一人が必ず実践できるということです。週に一度のICTラウンドでは、職員が感染対策を遵守できているか評価しながら、実践可能な対策を提案しています。

### 皮膚・排泄ケア 認定看護師

奥田 典代

皮膚・排泄ケアは、創傷・ストーマ（人工肛門・人工膀胱）・失禁（排尿障害）の領域に関わります。

褥瘡（床ずれ）や治りにくい傷、皮膚のトラブル、ストーマの管理、尿漏れ・便漏れによる苦痛などに関する相談に応じ、早期回復を目指し患者様が安心して日常生活を送れるよう取り組んでいます。また、入院中の患者様だけでなく退院後も適切なケアが継続できるよう [皮膚・排泄ケア外来（看護専門外来）](#) を開設し、ストーマや創傷保有者への継続的なサポートを行っています。地域との連携充実のため、認定看護による同行訪問も行っています。

### 慢性呼吸器疾患看護 認定看護師

阪本 敦子

COPD・間質性肺炎・肺結核・肺がんなどの呼吸器疾患患者とその家族が、疾患とともに「その人らしく生活」ができるよう、身体活動性を高めるためのケアや病状に応じたセルフマネジメントの支援をしています。また、呼吸ケアチーム（RST）では、多職種と協働し、包括的呼吸リハビリテーション、人工呼吸器装着中患者のケアと離脱へ向けた支援や調整を行います。当院はCOVID-19中等症専門病院ですので、COVID-19患者の呼吸管理に関する相談やスタッフのサポートも行っています。

### 緩和ケア 認定看護師

岡 千奈美

「緩和ケア」というのは、**がんと診断されたときの**精神的な辛さ、治療に伴う痛み、就業や経済的負担に対する不安など、**がんの状態や治療時期に関係なく、がんと診断されたときから**感じる身体と心の痛みを和らげることであり、その対象者はがん患者だけでなく、その家族なども含まれます。

身体的な苦痛や気持ちの辛さを少しでも和らげ、“その人らしく” 過ごしていくことを目標に関わっています。当院は、病気の状態や時期に関係なく、**がんと診断された早い時期からその時に合った方法で**提供できるよう、緩和ケアチームとして対応しています。